

C³プロジェクトでは、「東海村の環境と原子力安全について提言する会」を設置し、皆さんと一緒に、行政や事業者との議論の場や、必要なリスク情報づくりを進めることにしています。

昨年4月から、参加していただいている住民の皆さんと議論を重ね、2つのプログラムの実施を決定しました。皆さんのお考えや要望を実現してみませんか。参加はいつでも受け付けています！！

東海村の環境と原子力安全について提言する会への参加 申し込み方法

参加申し込みチラシの裏面にあるハガキに必要事項をご記入の上、お申し込みください。

2004年3月31日まで受け付けています。

参加申し込みチラシは、C³プロジェクト事務局のほか、合同庁舎1階ロビー、駅、役場、核燃料サイクル開発機構（アトムワールド、リコッティ）、日本原子力研究所（インフォメーションプラザ東海）、日本原子力発電所（テラパーク）内に置いてあります。

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
	10～16時	10～16時	10～16時			
9	10	11	12	13	14	15
	10～16時	建国記念の日	16～19時 提言する会			
16	17	18	19	20	21	22
	10～16時	10～16時	10～16時			
23	24	25	26	27	28	29
	閉	閉	閉			

予定は変更になる可能性がありますのでご了承ください。

サイクル機構の安全対策について議論しました！

10月に実施した視察について、参加者の感想と要望をまとめたレポートを作成しました。このレポートの内容について、再度サイクル機構関係者と安全対策について議論しました。

しーきゅうぶ2003年12月第6号でご報告したとおり、「東海村の環境と原子力安全について提言する会」では、希望者9名により、核燃料サイクル開発機構東海事業所の視察を去る10月20日に行いました。参加者は、視察の感想やサイクル機構への要望事項をレポートにまとめ、昨年末サイクル機構側へお渡ししました。1月14日に行った「提言する会」第8回会合では、再処理センターの田中副センター長と小林環境管理課長に出席いただき、視察参加者の指摘内容について議論しました。

サイクル機構では、視察中の議論や視察レポートの中で住民が指摘した点について、視察終了後、現場の状況を確認したとのことでした。住民の意見の中にはサイクル機構が視察以前から気付いていた事柄もあり、提案された改善案を検討しているそうです。特に、再処理工場では、これまで現場の判断で大丈夫と考えていた設備の使い方や労働安全対策を念入りに見直し、できるだけ住民提案を取り入れるようにする予定だということでした。ただし、建物の構造部分など、できない事柄も多いこと、住民意見の中には施設の安全運転や労働安全衛生管理にほとんど影響がないものもあるとの説明もありました。

提言する会メンバーは、サイクル機構が真摯に住民意見に対応しようとしている点を評価すると同時に、提案事項は大掛かりな工事をやらなくても保護カバーをつけたり、色を変えたり、工夫次第で対応できるなど、再度具体的な提案を行いました。また、これまでの安全対策のチェック体制について質問し、「自ら問題点を早期に解決する」組織を維持してほしいとの要望を伝えました。

サイクル機構側からは、1月14日の議論も踏まえ、さらに住民意見への対応を検討し、近いうちに改善結果を報告したいとの申し出がありました。

